

みなさんとともに実現

鶴川地域から

市民病院直行バス試走

新年度予算では、みなさんと共に求めてきた切実な住民要求を実現することができました。

まず認可保育所や認定こども園などの増改築整備によって、一年間に293人の定員増を図る予算が盛り込まれました。

また、玉川学園7、8丁目を走る「玉ちゃんバス」南ルートの運行事業予算（車両購入費、走行環境整備工事）や、鶴川地域から市民病院経由町田駅までの新規バス路線導入実験予算として、バス事業者へ3



「町田の丘学園」仮設校舎建設予定地（右は市立山崎保育園）



玉川学園東ルートのコミュニティバス

か月分の運行補助金が盛り込まれました。小中学校の施設環境整備事業では、図書室へのエアコン設置工事を6月補正予算の計上なども検討し、2014年度中に全校完了させるとしています。今後も、党市議団は要求実現にがんばります。

『都立町田の丘学園』校舎増設へ

学校跡地に仮設校舎

日本共産党市議団と都議団が視察し、議会でも継続的に求めてきた、野津田にある都立特別支援学校「町田の丘学園」の教室不足問題。今回、東京都の新年度予算に校舎増築費が盛り込まれ、それを受けて町田市が、山崎団地に隣接する旧忠生五小跡地を仮設校舎用地としての暫定使用を許可しました。これで、一つの教室をカーテンで仕切っていた「町田の丘学園」の教育環境が改善します。

被災地支援に行ってきました

「お米、本当に助かります」

4月22日から24日までの3日間、日本共産党町田市議団は宮城県石巻市と岩手県陸前高田市を訪れ、被災地支援をおこないました。私自身、被災地を訪れるのは初めてのことです。

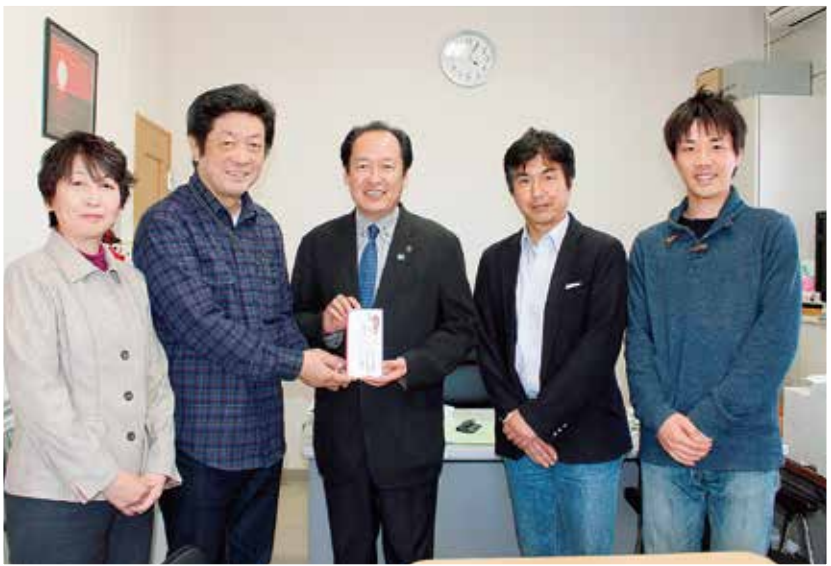
石巻市は、高台移転などをおこないつつ、かさ上げではなく海岸防潮堤と高盛土道路で津波対策が行われています。そのため、浸水地域も居住可能な地域に指定されているとのこと。しかし、実際には浸水地域に住みたいという人は

「皆無に等しい」と現地の方からお話がありました。

2日目は陸前高田市を訪問し、町田市出身の戸羽太市長と面談して町田市民からの募金20万円を手渡しました。また、地元の市議会議員である伊勢純さんの案内で仮設住宅を訪問し、町田市民からの募金でお米を買って届けてきました。

届けた方からは「本当に助かります」と大変喜ばれました。地震から3年たった今でも27万人を超す方が避難生活を余儀なくされています。一日も早い避難者の生活再建を求めるとともに、党市議団は引き続き支援に取り組んでいきます。

（わたばさとし記）



陸前高田市戸羽市長（中央）に救援募金を手渡す



仮設住宅住民に米を届ける党市議団